

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和2年度事業点検・評価調書

5- I -9

5- I -9

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	ブランドイメージの構築
節	I.佐渡金銀山のブランドイメージの確立		
事業(施策)名	9 シンボルマーク、キャッチコピー等の設定	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	県文化行政課、佐渡市企画課、佐渡市観光振興課、佐渡市地域振興課、県中小企業団体中央会、佐渡観光交流機構、佐渡連合商工会、(株)ゴールデン佐渡、佐渡汽船(株)
事業概要	【事業目的】	○ 佐渡金銀山のブランドイメージを構築し、佐渡及び新潟県全体のイメージアップを図る。	
	【事業内容】	○ シンボルマークやキャッチコピー等を設定し、佐渡金銀山のブランドイメージを効果的に発信する。	
事業計画と実績	【R2年度計画】	● 国内候補選定や世界遺産登録を見据え、効果的な時機にシンボルマーク等を設定するべく、課内、関係部署との連携を図る。	
	【R2年度実績】	● シンボルマーク等の設定の必要性について、課内での検討を行った。	
課題・今後の取組	【課題】	■ 佐渡のイメージアップにつながるよう、効果的な時機・方法でシンボルマーク等を設定する必要がある。	
	【今後の取組】	■ 引き続き、課内での検討を進める。	
事業評価	【事業の達成度】 [a・(b)・c]	◇ 概ね計画どおり進んでおり、一定程度の成果が得られていることからB評価とした。	
	【事業実施の効果】 [a・(b)・c]		
	【総合評価】 [A・(B)・C]		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。